

# 第2章

## 5分野の施策



本計画は、計画期間中であっても、社会情勢の変化に応じて柔軟に取組を検討・実施していきます。

特に、計画策定時は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況下であったため、ウィズコロナの社会及び新しい生活様式に対応した非接触型のコミュニケーションによる取組を重視しました。今後、新型コロナウイルス感染症の改善状況に応じて、接触型でのコミュニケーションによる取組も充実させていきます。

# 1. 学習活動

## (1) 学習活動とは

学習活動は、前計画の生涯学習にあたり、趣味や生きがい、キャリアアップなどのために、自由に選択して行う学習など、子どもから大人まで生涯にわたって行うあらゆる学習のことと定義づけます。学びの中で得た知識を人のためや地域づくりに活かすことや、様々な啓発活動事業等に参加することも学習活動であると言えます。一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、だれもが、生涯にわたって、いつでも、どこでも学習し、その成果を活かすことのできる社会の実現をねらいとしています。

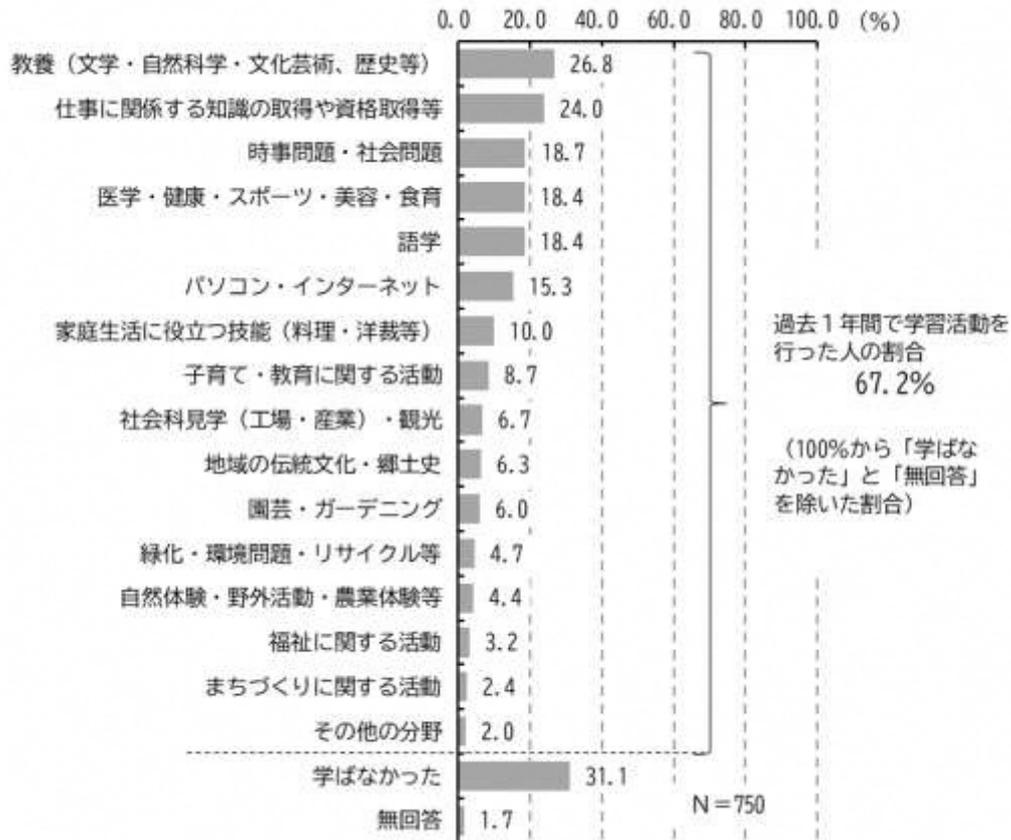
## (2) 現状と課題

### ① だれもが参加しやすい学習機会の提供

本区では、(公財)文京アカデミーが実施する「文京アカデミア講座」をはじめ、これまで多くの教育機関や企業等と連携しながら、多様な学習活動の機会の提供と環境づくりに取り組んできました。実態調査によると、1年間のうちに何らかの学習活動をしたことのある区民の割合は67.2%です。多くの区民の学習活動への関心は高く、子育て中の方、高齢者などだれもが生涯を通じて学ぶことのできる環境づくりが求められており、あわせて区民への適切な情報発信が必要です。また、年齢や国籍、障害の有無等に関わらず、だれもが思い立ったときに学びを実践できる機会の充実と学習活動の場の提供が大切です。

また、図書館は、地域資料の収集や学習に必要な情報の収集・提供等と併せて、区民に身近な地域の学習拠点としてさらなる活用を検討する必要があります。また、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)」の施行により、障害の有無に関わらず、全ての人が等しく読書に親しむための環境整備が求められています。

## 《この1年間に学んだ分野》



【出典】文京区 (令和元年度)「実態調査」

## ② オンラインを活用した学習機会の提供と支援

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、これまで行ってきた対面形式の活動等が難しい状況となったため、ICTを活用したオンライン形式で事業を実施するなど、コロナ禍においても区民の学習機会の確保に努めてきました。また、図書館では非来館・非接触型のサービスとして電子書籍やオーディオブック等、ICTを活用した図書館サービスの充実を図っています。

今後は一層、オンラインでの多様なサービスや学習機会の提供など、新しい技術を活かした学びの提供が求められるため、オンラインと対面の相乗効果を生むような「ハイブリッド型」の講座の開催などを進めていくことが必要です。

また、SNSを活用した情報発信や、ICT社会に対応するための指導者と受講者双方の育成、さらに高齢者などの情報弱者、経済的な状況による学習機会の格差に配慮したデジタルデバイド対策が必要です。

## ③ 学びの成果を活かし活動へとつなげる人づくり

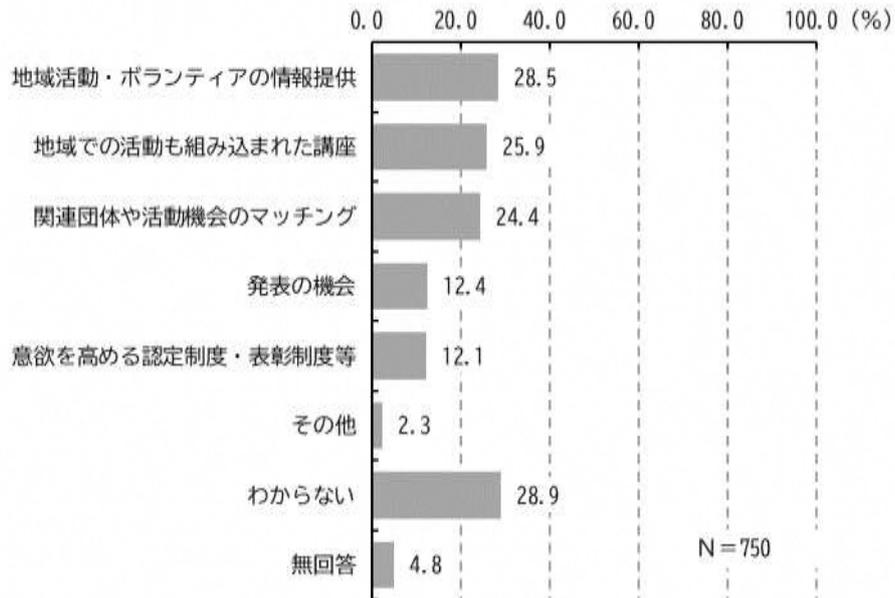
本区は、区民自らが学習活動の担い手となり、区と協働しながら活動に取り組む「文の京生涯学習司」、「文の京地域文化インタープリター」、「文京アカデミアサポーター」を養成し、人材育成・活用を推進してきました。しかしながら、このような人材を活用する仕組みが不十分な状況です。また、地域の学習活動を支える中心的役割を担う人材が不足しており、次の世代の育成が求められています。

一方で、実態調査をみると、読書を通じて学んだ区民は52.8%、インターネットを通じて学んだ区民は47.8%となっており、個人学習に特化している傾向がみられ、集団で学習活動を行う人が増えるためには、初心者や知り合い等がいない人でも取り組みやすい環境づくりが求められています。知識や技術を伝える側と学習する側とを結び付けながら、学びあいをきっかけとした交流の推進と成果を活かす場をつくり、学びの成果を地域社会へ還元する人づくりが必要です。

## ④ 学習活動環境の充実に向けたネットワークの構築

実態調査をみると、「区民が学習活動で得た内容を地域や人のために活かすため、区がより力を入れるべき取組」として、「地域活動・ボランティアの情報提供」「地域活動も組み込まれた講座」が挙げられています。地域のつながりが希薄と言われる中、地域における学習活動環境の充実が大切です。そのためには、町会や関係機関など様々なネットワークを構築するため、区民につながりづくり、地域づくりに活かす意義や必要性を伝え、理解してもらうよう支援することが必要です。

《これまでに学んだ内容を他人や地域のために活かすため、区がより力を入れるべき取組》



【出典】文京区（令和元年度）「実態調査」

## 現状と課題のまとめ

- ①だれもが参加しやすい学習機会の提供
- ②オンラインを活用した学習機会の提供と支援
- ③学びの成果を活かし活動へとつなげる人づくり
- ④学習活動環境の充実に向けたネットワークの構築

### (3) 施策体系の考え方

現状と課題を踏まえると、だれもが、いつでも、どこでも学びを实践できる機会を充実させることが重要です。

地域で学習活動を推進するにあたっては、区民一人ひとりの主体性を重んじるとともに、学習する側と知識や技術を伝える側双方の育成をすることで、人づくり、つながりづくり、地域づくりが促進され、活動の活性化が期待できます。

また、学習活動は、持続可能な社会をつくっていくために、必要な知識や技術を身につけるものとして重要な役割を担っています。学習が生涯にわたって、豊かな人生を送るための助けや様々な課題を解決する力となり、個人の活動からグループや地域での活動と交流へつなげられるよう推進します。

### (4) 施策体系

学習活動分野の施策体系は以下のとおりです。

基本方針	施策
① だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくり	
	ア 多様なニーズに応じた学習機会の充実
	イ だれもが学びを实践できる支援の充実
	ウ 身近な学習環境の充実
	エ 地域の学習拠点としての図書館づくり
② 学び続けるための活動の支援	
	ア 区民の主体的な学習活動の支援
	イ 活動の成果を披露できる場の充実
	ウ 学びを通じた交流・仲間づくりの推進
③ 学びの循環による地域づくり	
	ア 地域の学びを促進する人材育成の推進
	イ 人材活用の仕組みの構築
	ウ 地域の資源を活かして学びを深める取組の推進

※【分野間連携】については、連携する分野を次のマークで示しています。

凡 例	 学習活動	 スポーツ	 文化芸術
	 観光	 国内・国際交流	

## (5) 基本方針ごとの具体的な取組

### 1 だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくり

日常の中の興味や関心、生活や地域の中で生まれた課題など、人々の学びのきっかけは様々です。だれもが自分の好きな時に学習活動を実践できるよう、多様なニーズに柔軟に対応しながら取組を充実させることが重要です。

区民が身近で楽しめるものから、専門的に学ぶことができるものまで幅広く質の高い学習機会を提供します。

また、性別や年齢、障害の有無、国籍等に関わらず、若年層や働き世代、子育て世代なども含め、個人の様々な状況に応じた学習を実践することができるよう、ICTを活用したオンライン講座など、新たな学習スタイルに対応した取組や、地域の学習拠点としての図書館の充実など、だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくりを推進します。

指標	現状値	目標値
1年間に学習活動を行った人の割合	67.2% (令和元年度)	70.0%

#### ア 多様なニーズに応じた学習機会の充実

区民の多様なニーズに対応した幅広い分野の講座等の提供に取り組みます。気軽に参加できる初心者向けのものをはじめ、大学・企業等と連携した専門性の高いものまで、区民の学習状況に合わせた多様なプログラムを展開します。



文京アカデミア講座（現地見学）

#### 主な取組

#### ■ 様々な分野の講座・講演会等の実施

区民の学習を支援するため、(公財)文京アカデミーの実施する「文京アカデミア講座」をはじめ、地域、歴史、社会、環境、男女平等、健康等様々な分野の講座や講演会等を実施します。

#### 【分野間連携】

- 区の文化事業、観光イベントや交流自治体等に関連した講座・講演会等を企画・実施します。 

## イ だれもが学びを実践できる支援の充実

区民一人ひとりの状況に応じて学習に取り組むことができるよう、区報・ホームページ・SNS 等による学習機会の情報発信や、ICT を活用した学習方法など様々な学習支援・相談の充実を図ります。

また、働く世代などに配慮して夜間や休日を利用した学習機会の提供、デジタルデバイス対策の実施など、学習する際の課題に対応できるよう取組を推進します。

### 主な取組

#### ■学習活動に関する効果的な情報発信と相談・紹介

各所管課で実施されている講座も含め、各種講座の開催や社会教育関係団体の活動等の学習活動に関する情報の集約と発信に取り組めます。また、区民がそれぞれのニーズや目的に応じて学習活動に取り組むことができるよう、学習活動の相談・紹介を行います。

#### ■ライフスタイルに応じた学ぶ機会の提供

働く世代や子育て世代などが学習活動に取り組むことができるよう、夜間や休日等を利用した学習機会を提供します。

#### ■情報化社会に対応した学習活動の支援

ICT を活用した学習活動の機会や情報等を提供するとともに、インターネットの利用方法やパソコン、タブレット端末、スマートフォン等の操作方法についての講座を開催するなど、だれもが気軽に活用できるように支援を行います。

## ウ 身近な学習環境の充実

アカデミー文京・地域アカデミー等の施設を区民に貸し出し、自主的な学習活動を行う環境の向上に努めます。

オンライン形式での講座の実施、インターネットによる施設予約の利便性向上や図書館での電子書籍・オーディオブック等の資料の充実など、ICT を活用して学習環境を充実します。

### 主な取組

#### ■オンライン形式での講座等の実施

時間や場所にとらわれず各種講座等を受講できるよう、インターネットを活用して講座を実施します。

### ■施設利用の利便性向上

区の施設で様々な活動を行う団体等の利用について利便性を向上するため、施設予約システムの機能向上や施設の適切な管理運営に取り組みます。

### ■さまざまな媒体の資料の充実

図書館では、電子書籍やオーディオブック等、アクセシブルな資料の充実を図ります。また、アカデミー文京では、地域での学習活動を支援するため、視聴覚学習資料等を地域の幼稚園、小・中学校、社会教育関係団体、個人等に貸出します。

## Ⅰ 地域の学習拠点としての図書館づくり

だれでも利用できる地域の学習拠点として、図書館サービスの充実に取り組みます。

文京区立図書館は、真砂中央図書館をはじめとする8図書館と2図書室及び1取次拠点があり、区内ほとんどの地域から半径1 km 圏内に図書館の窓口が配置されています。区民にとっての身近な知識や情報、学習のよりどころであり、新しい発見や学習のきっかけが生まれることも多くあります。区民の様々な学習を支えるため、多様なニーズに対応した資料提供と情報発信の充実を図ります。

### 主な取組

#### ■図書館資料の充実

図書館の利用促進を図るため、点字図書、拡大図書などバリアフリーに配慮したアクセシブルな資料も含め、図書館資料を充実します。

#### ■図書館での学習機会の提供

地域の歴史、文化、家庭教育等、利用者の関心にあわせたテーマの講座等を実施します。



図書館の地域資料特集コーナー



図書館でのアンサンブルコンサート

## 2

## 学び続けるための活動の支援

生涯にわたって学習活動を行うためには、個人の学びの動機や意欲はもちろんのこと、ともに学ぶことのできる仲間づくりや活動の成果を披露する場が重要です。

学びを通じて交流することは、学びが学びを引き寄せ、各々個人の持つ知識や技術、視点が新しい刺激となって、より充実した活動になることが期待されます。

また、学習や経験で得られた学びを発表したり、披露したりすることは、学びによる効果的な気づきの場でもあります。自らの学習を振り返り、やりがいと達成感を得ながら継続的に学習活動に取り組むことを支援します。

指標	現状値	目標値
社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数	161,731人 (令和元年度)	167,000人

## ア 区民の主体的な学習活動の支援

学習活動を通じて区民同士が交流し、継続的な活動を行うため、サークルや団体を含めた区民の主体的な活動を支援します。

## 主な取組

## ■区民の自主的なサークル・団体への活動支援

学習・スポーツ・文化活動を行う団体として登録された社会教育関係団体に対して、施設の優先利用や利用料金の減免などを行います。また、文京区生涯学習サークル連絡会によって実施される公開講座、合同学習会等の各種自主学習活動への支援を行います。

## 【分野間連携】

- 学習・スポーツ・文化活動に取り組むことを希望する区民に対して、興味関心のある分野の社会教育関係団体を紹介することで、自ら活動を始めるきっかけを提供します。



### イ 活動の成果を披露できる場の充実

個人や団体の様々な活動において、学習意欲の向上を図り、また、これから活動を行う人にとってのきっかけを作るため、学習活動の成果を披露できる場の充実を図ります。



生涯学習フェア

#### 主な取組

#### ■ 区民が学習活動の成果を披露するイベントの実施

日頃の活動内容の発表や、団体間・地域の人々同士の交流を図ることにより、活動する人、活動してみたい人の学びの意欲が一層高まるイベントを実施します。学習活動を行う多様な団体が参加する生涯学習フェアをはじめ、区内の様々な学びの場で活動が広がるように取り組みます。

### ウ 学びを通じた交流・仲間づくりの推進

オンライン上での交流を含めた交流型の学習機会を充実し、ともに学習活動に取り組む仲間づくりを推進します。

#### 主な取組

#### ■ 交流事業の実施

地域活動センターや交流館等において、幅広い年代の区民が参加する各種イベントや様々な教室を開催します。

また、多様な活動の活性化を図るため、ボランティア・市民活動団体の交流の場を設けるなど、各活動の支援となる交流事業を行い、オンライン形式での交流機会の創出にも取り組みます。

### 3

## 学びの循環による地域づくり

知識や技術を他者に伝えていくことで、学びが人と人をつなぎ、新たな知を生み出すことができます。

学習活動を通じて知識やスキルを習得した区民が担い手となって地域で様々な活動を行い、学びが地域の中でつながっていく仕組みを構築することにより、地域コミュニティの活性化につなげていきます。

地域の文化や資源を活用した多様な学習機会を提供し、特色ある取組を充実します。

指標	現状値	目標値
これまでに学んだ内容を他人や地域のために活かした人の割合	19.1% (令和元年度)	25.0%

### ア 地域の学びを促進する人材育成の推進

活動の担い手となる人材を育成するため、「文の京生涯学習司」「文の京地域文化インタープリター」「文京アカデミアサポーター」をはじめとした各種資格制度や活動の周知を図るとともに、資格取得者の交流を促進し、区民同士の連携を深める場づくりを推進します。また、次代の担い手の育成や活動の継続につなげる取組を行います。

#### 主な取組

#### ■ 学習支援者育成のための講座等の実施

生涯学習に関し、区や公益財団等と協働する人材を育成するため、「文の京生涯学習司」、「文の京地域文化インタープリター」「文京アカデミアサポーター」の3つの養成講座を実施します。また、より多角的な活動を行う技能等を学習するため、スキルアップ講座も実施します。

#### ■ 学習活動を通じたボランティア、サポーターの育成

高齢者・障害者や子育てに対する支援、環境活動など地域の様々な活動を行う担い手として、区民が自主的に様々な活動を行うことができるよう、専門的な知識やスキルを身につけるための講座を実施します。

## イ 人材活用の仕組みの構築

活動で得た知識やスキルを持つ区民が、地域活動の担い手となるための取組を推進し、区民が活躍できる場や機会の充実を図ります。

### 主な取組

#### ■区民を講師とした講座等の実施

区民の学習の成果や NPO 等の団体のノウハウを活かし、地域に還元するため、区民を講師とした講座等を実施します。

#### ■各種講座・展示会の企画への起用

文の京生涯学習司や文の京地域文化インタープリター等の活躍を支援し、文化事業に活かしていく事業（企画展等）を展開します。

#### 【分野間連携】

- ▶ 文の京生涯学習司や文の京地域文化インタープリターが、文化事業や観光事業等と連携した事業を支援します。 

## ウ 地域の資源を活かして学びを深める取組の推進

地域の文化や資源を活用した学習機会を提供するため、区内で活躍する人材や大学などの教育機関といった多様な資源を活かした取組を推進します。

### 主な取組

#### ■文京区を知るための講座等の実施

地域の各種団体の要望に応じ、区職員を講師として派遣し行政情報を講座形式で提供する取組や、区の地域文化について学ぶ講座等を実施します。

#### ■大学連携による事業の実施

大学の持つ高度で専門的な学習機能や人材を活かした学習機会を区民に提供するため、区内大学と連携した事業を展開します。